

第 6 回（仮称）富士宮市立郷土史博物館基本計画策定委員会

会議録

場所	令和 8 年 7 月 9 日（木）14:00～16:00
日時	駅前交流センターきらら 多目的室
出席者	委員：小笠原委員（◎）、北垣委員（○）、大高委員、 渡井（正）委員、渡井（一）委員、芦澤委員、 諸星委員、井口委員 * 欠席：高橋委員、横山委員 事務局：富士宮市教育委員会 佐野教育部長 富士宮市文化財課 中野課長、渡邊係長、大場主査、保竹学 芸員、松本学芸員、柿崎学芸員、原学芸員、三上学芸員 オブザーバー：丹青社 大木、中尾、松村

内 容

1. 開会

教育部長	市民説明会とパブリック・コメントを実施したため、その報告を行う。 パブリック・コメントを踏まえて、基本計画を策定する。 委員会は今回をもって最終回とする。
委員	これから紆余曲折があるだろうが、委員会としては今回の内容を取りまとめ、その後は市に任せたい。ここでの議論は必ず活かしてもらえるものと思う。

2. 議事

（１）市民説明会等における市民からの意見について

（２）パブリック・コメントの結果と反映について

事務局	* 資料 1 を説明。
文化課長	説明会やパブリック・コメントから、歴史文化を守ることの大切さについては、一定の理解を得ることができていると感じている。説明会や今回の資料を作成した時点では、補助金やふるさと納税を利用し、市民の負担を少なくして計画を進める考えで行っ

	てきた。しかし、パブリック・コメントや説明会の意見から、現在の社会情勢や物価高騰により市民が不安を抱いていることが感じられ、庁内でも検討が必要ではないかという話があった。本日午前中に開催された定例記者会見において、市長から、市民の意見を聞いて丁寧な検討を行うため、今年度9月の補正予算に本事業に関する予算を提出しないことを決定したという発言があった。基本計画は7月中の策定を予定しているが、上記の変更を踏まえ、候補地や、スケジュール、進め方の記載について、今後、事務局として修正して策定を行う旨ご了承いただきたい。事務局で修正した基本計画については、委員の皆様を送付させていただくので検討をお願いしたい。 また、今回のパブリック・コメントでいただいたご意見に対する回答について、1点ずつ回答を準備しているが、回答を作成した時点では計画どおり事業を進める考えで回答しているため、これらの回答は今後修正する可能性がある。
事務局	* 資料2を説明。 ※パブリック・コメントで集まった意見及びパブリック・コメントを踏まえ基本計画（案）を修正した箇所について説明。
委員	資料1の市民説明会の参加状況について、周知が足りないという意見があるが、どの程度の参加人数を想定していたか。
事務局	各会場で広さが異なるが、30名以上の収容を確保して各説明会を開催した。市役所の特大会議室は80名程度を想定していた。実際の参加者は記載のとおり結果となった。
委員	自身は、別の市の市民説明会やパブリック・コメントが適切に開催されているか審査する委員会に所属しているが、当事業の説明会やパブリック・コメントは適切に行われており、説明も丁寧で驚いた。 賛否両論あるが、幅広く建設的な意見を集めることができ、市民の興味・関心も強いと感じる。反対意見も設置時期に関しての意

	見であり、ネガティブな意見は少なかったように感じる。
(3) 基本計画内容について	
事務局	基本計画全体をとおして気になる点等についてご指摘いただきたい。収蔵物の移設については、来年度検討したい。移設先では除湿等を含めた整備を検討したい。
委員	これまでの検討事項がどのように本構想に反映されたのかをまとめた資料を作成したほうがいいと思う。
事務局	今後、整理をして報告する。
委員	前回からの変更点は資料の黄色の箇所という理解で良いか。本日の市長の話を踏まえ、候補地に関してなど、修正を加える流れになるかと思う。修正を加えた後、委員に資料を送付し意見を伺うということで良いか。年度内には基本計画を完成させるのか。
事務局	前回からの変更点は黄色の箇所という理解で良い。修正後、委員に資料を送付する。今後、修正する部分に関しては、庁内で検討する。 4月末に市の政策会議で候補地を決定して、基本計画素案に記載した経緯があるので、しかるべき庁内手続き・調整を行って7月中には基本計画を完成させる予定。8月に市のホームページでの公開を目指している。
委員	地域ごとの市民説明会の出席率によって、関心度の差を感じた。 商店街で実施された勉強会のような形でやっていかないと周知は難しい。
事務局	周知方法については前段で述べたが、広報ふじのみや、新聞、市のホームページ、SNS（水、金曜日更新）で発信していた。 しかし、説明会で回覧板が回ってこなかったという意見をいただいた。かつて実施した際に効果を感じられなかったため今回は実施しなかったが、機会がある際には回覧板での周知を再度実施する。

委員	色々な市民の意見を反映するのは難しい。市の学芸員の方に講座を開いてもらい、市のたからが市民や市にこういった役割を果たすのか、博物館の役割について市民の理解を深めてもらえるような機会を今後も設けていただければと思う。 また、総合学習や歴史に関する体験学習について理解を深めてもらえるよう働きかけていくことも重要だ。
事務局	昨年度、展示用パネルを作ったことをきっかけに学芸員による歴史講座、古文書講座を始めた。最近は参加応募も多くあり、関心を持つ方が増えているように感じる。今年は昭和 100 年に合わせて、他のイベントも企画している。引き続き、市民の方と学習交流を進めていく。
委員	基本計画にスケジュールを記載しているが、変更の可能性があると思われる。基本計画を修正するのであれば、現時点で何を変更する予定なのか、分かっているものがあれば教えていただきたい。
事務局	スケジュールに関しては変更するが、基本計画後のスケジュールが未定なため、記載を工夫する。 また、立地場所についても、ほかの候補地も視野に入れるという方針で記載を改める。新築で建てるか、既存施設を利活用するかについても再検討する。
委員	この委員会によって策定した基本計画を修正・変更するのは、大変重みのあることであると事務局には理解をいただき、基本計画のどこをなぜ変更したのか、きちんと修正の記録を残してほしい。これは、委員長としてお願いしたい。そうでなければ、何のために委員が集まって策定委員会で検討してきたのか意味がなくなってしまう。
委員	パブリック・コメントを読み、博物館設置の目的を周知する必要があると感じた。市史編さん事業等、他事業の進捗・成果と併せて目的について説明できれば説得力も増すと思う。今後の事業の

	中でも博物館の必要性は伝えるべきである。
事務局	「博物館がなぜ必要か」という点については、令和３年度に基本構想を策定して、令和４年度に説明会を開いて進めてきた経緯があるが、説明会に市民が来てくれないと周知も難しい。ほかの事業と絡めるなどして、工夫して周知を行いたい。引き続き市民に伝えていきたいと思う。
委員	「たから」という言葉が先行しているが、なぜ歴史資料が大切なのか、なぜお金をかけて守る必要があるのか、なぜ博物館が必要なのかを伝える必要がある。 利用価値のある歴史資料すなわち公共財は、収集して整理し、あるいはデジタルアーカイブして、皆が認識できるようにしておく必要があり、さらに、その歴史資料がどのような価値を持つのか伝えていかなければならない。価値が分からず捨てられてしまう資料もある。歴史資料は、１点だけでは意味がないものだとしても、集めて並べてみることによって比較し調査することができ、新たに解明したり価値を明らかにしたりすることができる。このように、研究して歴史的価値を見出し高めていくことができる施設が博物館であり、博物館の価値である。現在も歴史資料を集めていると思うが、どのように調査をしてどのようなことが解明できたのか市民に地道に伝え続けていけば、市民になぜ博物館が必要か分かっていただけではないかと思う。
委員	候補地も再検討の可能性があるとのことであれば、大鹿窪遺跡にできればいいかなと思っていた。
委員	建設場所が変わるということだが、郊外型になったら今まで策定委員会で検討してきた内容と全く違う話になってしまう。 博物館の必要性を伝えようと思っても、金銭的、一方的な反対意見が多く、話が伝わりきらない感覚があった。 周知のための工夫として、例えば「たから」の魅力を発信するコンテンツをつくって市立病院や市役所の待合室で上映するなどし

	てはどうか。
事務局	今までの策定委員会の中で都市型がいいという意見をいただいたので、引き続き大切にしていきたい。 パブリック・コメントの中で整備費に対する意見が先行してしまったが、前向きな意見もたくさんいただいたので、それらを活かして前進していく。
委員	戦争もあり、市民の生活や気持ちにゆとりがない時期であることも重なったことが残念だった。
委員	市民説明会に参加したが、事務局はよく耐えたと思う。 我々が決めたところは、活かせるところは活かしてほしい。富士宮市民としてもっと富士宮市のことを知りたいと思って、この委員会への参加を決めた。どんな市民であっても「たから」はあるはず。市民説明会では、事業の趣旨を理解してもらえない歯がゆさを感じた。
委員	事務局、委員の皆様にお礼を申し上げる。
事務局	基本計画策定委員会は今回で最終回となるが、基本計画に変更があった際には周知する。今後のスケジュールは未定だが、引き続き博物館整備事業は進めていく。